



加藤 登紀子 さん

プロフィールをご紹介

- 1965年 東京大学在学中
第2回日本アマチュアシャンソンコンクールに優勝し歌手デビュー
- 1966年 「赤い風船」 レコード大賞新人賞
- 1969年 「ひとり寝の子守唄」 レコード大賞歌唱賞
- 1971年 「知床旅情」 レコード大賞歌唱賞を受賞

以後、80枚以上のアルバムと多くのヒット曲を世に送り出されています
また、国内のみならず世界各地で公演や活動を行っておられます

1988年・1990年のニューヨーク公演

1992年 芸術文化活動の功績に対しフランス政府からシュバリエ勲章を授賞

2015年 デビュー50周年を記念し、ヒット曲「百万本のバラ」の生まれた
ラトビアのリエパーヤ交響楽団と日本とラトビアで公演

2016年 エディット・ピアフ生誕100年に捧ぐ、加藤登紀子「ピアフ物語」で
国内ツアー後、11月にフランス・パリ公演

2017年 2月「加藤登紀子 コンサート in カンボジア2017」

そして、6月11日 渋谷Bunkamuraオーチャードホールにて

《人生の始まりと終わり ひばりとピアフ》コンサートが開催されました

歌手活動以外にも、女優として『居酒屋兆治』（1983年）などに出演、
宮崎駿監督の『紅の豚』（1992年）では声優の魅力も発揮されました

芸能以外の活動をご紹介



千葉県鴨川市の「鴨川自然王国」を拠点とした循環型社会の実現に向けた活動や地球環境問題にも積極的に取り組まれています。
また、1997年にWWFジャパン顧問 及び WWFパンダ大使に就任されたのに続き、2000～2011年にUNEP(国連環境計画)親善大使としてアジア・オセアニア各地を精力的に訪れ、自らの目で見た自然環境の現状を広く伝えるほか、音楽を通じた交流を重ねておられました。

近年リリースされたCDアルバム・DVDと、主な書籍をご紹介

【CD・DVD最近のリリース】4枚組CDアルバム「終わりになき歌 加藤登紀子半世紀BEST」
50周年記念CDアルバム「百歌百会」出会いから生まれた歌
50周年記念DVD「百万本のバラコンサートwith ラトビア・リエパーヤ交響楽団」

2017年5月28日 最新ライブアルバム(2枚組)ひばりとピアフ 発売！

【本】2003年自叙伝『青い月のバラード』
2005年 夫藤本敏夫との獄中往復書簡『絆』・2011年『スマイル・レボリューション』
2012年対談集「命を結ぶ」・2013年『君が生まれたあの日 未来への手紙〜』
2016年『愛の讃歌 エディット・ピアフの生きた時代』



最新ライブCD ひばりとピアフ



(書籍) 愛の讃歌
～エディット・ピアフの生きた時代～